

令和6年度 綾町立綾小学校 自己評価書

教育目標	綾愛を育てる学校を目指す。
経営理念	綾愛を、知・徳・体・ふるさと教育・特別支援教育の五つの分野から育っていく。

4段階評価【 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

本年度の 重点目標	努力事項及び具体的な取組	評価項目	自己評価			結果の考察・分析及び改善策	学校運営協議会の評価	
			職員	保護者	児童		評価	意見等
かかる・できるの実現と基礎学力の向上	多様な学習の進め方及びICT活用 多様な学習の進め方の研究とICTを効果的に活用した授業づくり	授業にICT機器の活用を図り、分かる・できる授業づくりを行っている。	3.3	2.9	3.4	各種学力調査から児童の実態を把握・分析し、対策を話し合い、実践してきた。日々の授業において、電子黒板を活用し、拡大された教科書の提示や授業に関連する画像や動画を提示することで、理解が深まるように指導を行った。児童用タブレットにも慣れ、活用が図られてきた。児童の自己評価が、3.0以上で、ある程度学習への自信を感じられるため、今後も、様々な手立てをさらに充実させていきたいと考えている。	3.2	先生方の日々の工夫・改善・努力に感謝いたします。 読書活動との関連もあると思いますが、「読む」「書く」という基礎の部分がより充実してくると良いかと思います。 文字の丁寧さや筆順等が気になります。 ICT活用が十分に図られていると感じる。 ほとんどの項目で職員(先生方)と児童の評価が同じでということは目標に向かって同じ方向を向いているようで、今後とも保護者と共にがんばっていただきたい。綾愛が育ってできることは喜ばしい。 ICT活用になれてきた頃で、生徒さんに新たな悩みが出てくるのかなと思いましたが、児童の評価は高く、ひとえに先生方が、たゞさんの工夫を重ねてこられたのだと感じた。 多様な子ども一人が「分かる」「できる」景観するためにこれからもICT活用方法について模索していくください。 教師の手立てを工夫し、タブレットを活用した授業改善がさらに進むように取り組んでほしい。 ICT活用の学習については、児童達の理解がでできているように伺えます。その調子で、指導をお願いします。 ICTを活用した学習が増え、先生方のたいへんさはあると思いますが、子ども達がより興味を持って学習に向き合ってくれれば良いと思う。 児童一人一人が目的を持ち、学習意欲が継続し楽しい授業ができるよう校内研修の充実を今後も期待したい。
	授業づくり 「めあて」と「まとめ」の整合性と習熟の時間確保を意識した授業づくり	児童の学習意欲を高める工夫をしている。	3.2	3.0	3.4	初期研修や校内OJTを通して、互いの授業を見合う機会をとるようにすることで、授業の工夫・改善を行ってきた。本年度は、単元内自由進度学習を取り入れ、児童の学びに向かう意欲の向上を図ってきた。また、「まなびの時間」での習熟の時間を確保することを取り組んできた。	3.2	先生方同士のお互いの学びや気付きも加わって、相乗効果が生まれていると思います。 単元内自由進度学習を取り入れるなど、がんばっていらっしゃるのが伝わってきます。 『自由進度学習』では、児童の学習意欲が高まり、積極的に取り組めるようになる反面、低学年層の児童への対応等の課題があると思うが、次年度の更なる充実を期待したい。 初期研修や校内OJTの充実により、教師間の学び合い、教え合いで授業レベルのアップを目指してほしい。
	読書活動の推進 読める力向上のため、読書活動の推進	読書習慣の定着を図るために、各児童へ学期ごとの目標を設定させている。	2.9	2.3	2.9	毎月一回の「読書の日」の取組を通して、家庭との連携を図った読書推奨を行ってきた。また、11月には、読書月間との取組として、読書祭りを企画し、積極的な図書室利用を推奨してきた。金曜日は、1・2年生に地域ボランティアの方の「読み聞かせ」を実施し、本に対する興味・関心を高めていくことができた。	2.8	本に対する興味を引き続き高めていただきたい。 全目標の中でも、最も評価が低いですが、特に保護者からの評価が低いと感じられるのであれば、児童の意欲向上部分が伝わっていないのかもしれない。と感じました。生徒と一緒にアイデアを出し合うのも良いかと思いました。 全く問題ありません。素晴らしい取組だと思います。 本を通して何を学び、何にワクワクし、何に癒やされ、何に元気をもらったのかその内容を知りたいです。 保護者の評価が、全体で最も低い。家庭での読書週間の定着がむずかしいのが分かる。SNS等の影響が大きいと思う。 親が読書をする家庭は子どもも読書をしています。根気強き長い取組が必要だと思います。 読書が好き、きちんと感じる児童の個人差が大きく、家庭との連携を図った読書推奨を更に強化してほしい。
生徒指導の徹底を通して豊かな人間性の育成	命を守る教育 自分を愛【大切に思い行動】するため、また、「自分の命は自分で守ること」を徹底	自分の命を守る、大切にすることや自尊感情や自己肯定感（「自分には良いところがある」と感じていること）及び他人を思いやる心を育成するための指導を行っている。	3.2	3.1	3.7	日常において、「命」を大切にする事を学校・地域・保護者の協力のもと、子ども達に伝えている。このことからも、児童の評価からは「命を守る」ことについて、日頃から意識していることがうかがえる。今後、家庭においても「命を守る教育」について、どのようなことができるかPTAと共に考えていくよう効果的である。	3.4	家庭の教育力の低下が言われて久しい中、綾もうすかと思います。PTAと連携して、家庭教育学級の充実など、家庭に対する地道な働きかけが今後ますます必要になって行くと思います。 命を守る取組は非常に大事なことであり、地域ぐるみでの取組が必要と思う。 たいへん素晴らしい取組だと思います。 児童の評価が、全ての項目で最も高い評価になっている。より実践ができるように取り組んでほしい。 保護者の評価が低めなのが残念ですが、児童の評価は高いので先生方の指導はしっかり届いているのだと思います。 「命を守る教育」の充実を図るためにには、学校・地域・保護者がともに連携していく必要がある。
	基本的な生活習慣の徹底 基本的な生活習慣の徹底のため、あいさつ運動を推進	日常的に、あいさつかできるような指導を行っている。	3.2	3.1	3.4	学校において、あいさつを積極的に行うための工夫を行ってきた。行事等を通して、高学年によるあいさつ運動を実施するなどにより、児童のあいさつも良くなっていると感じる。地域でのあいさつ、家庭でのあいさつが昨年度より、良くなっていると感じる。今後、保護者や地域との連携も図りながら、あいさつをさらに盛り上げ、規範意識の高い児童を育てたい。	3.1	登校中のあいさつはあまり良くない。 地域でそれ違うときも生徒さんの方から、あいさつをしてくださっています。心地よさや安心感を感じると同時に、大人の方からも積極的にあいさつをすることが大切だと感じました。 あいさつに関しては、これからも積極的に声をかけていきたいと思いました。 家庭や地域であいさつが良くなっているのは、よいことである。さらによくなるように取り組んでほしい。 子どもの評価が高いと言うことは、それだけ意識して取り組めていると言ふことだと思います。 学校・地域・保護者がともに連携した「あいさつ運動」の推進を第一に掲げて取り組んでいただきたい。
	道徳科を中心とした豊かな人間性の醸成 認め、褒め、支え、鍛え、道徳科の授業を充実	認め、褒め、支え、鍛え、道徳科の授業実践に取り組んでいる。	3.1	3.3	3.3	・昨年同様、保護者・児童の「思いやりの心をもって接している」ことに対し、ある程度評価されている。日常の様子からも思いやりのある言動が多く見られている。 ・教職員が評価した道徳の授業については、十分とは言えないという評価であったが、授業改善を図りながら、豊かな人間性育成のために、自分の考えを深め、互いの違いを認め合えるような授業を構築していきたい。	3.0	道徳科はすぐに効果が出るという訳ではないので、繰り返し、道徳科の授業を行っていただければ、いつかはその場面に遭遇したときに育っていくものだと思いますので、やっていただけるだけで大変ありがとうございます。 あいさつとともに感謝の言葉や、認めたり褒めたりする言葉も日常生活の中にあふれると、暖かさ（愛）が伝染していくと思います。思いやりのある言動が多く見られるのは嬉しいです。きっと先生方が、愛や思いやりの言葉を使っていらっしゃるのだろうと想像します。子どもは大人を手本とし、真似ますから。 日々、授業改善を図りながら、より充実した道徳教育の推進を期待したい。

	<p><b>積極的に運動に取り組もうとする意識の向上</b> 効果的な柔軟運動を教科体育の時間に取り入れる。</p>	<p>教科体育での体力テストを意識した運動の実施や、運動の習慣化を図る指導を工夫している。</p>	3.1	3.0	3.3	<p>体力テストの結果を元に、日々の体育指導の充実を図り、学年間での情報交換を行ったり、体育の授業を共同で行ったりしながら、授業の充実を図ることができた。保護者・児童の自己評価も3.0以上であった。さらに、情報発信にも努め、体力の向上にもつなげていきたい。</p>	<p>3.2 体育に対する児童の意欲も少しずつ高まっているのではないかと思います。コロナ禍の時より、子ども駅伝大会にも多くの参加がありました。 遊びの中で、あまり身体を使わなくなった現代、学校で育てていただく時間がとても貴重なものになっているよう思います。 全国的に体力の低下が問題になっているが、子どもを取り巻く環境の変化が一番の原因ではないかと思う。学校としては、現在の取組を継続し、運動することの楽しさを培していくべし。 子どもの体力低下が取り上げられがちですが、体育の授業等で充実を図られているようで、嬉しいと思います。 体力テストにおける児童一人一人の記録の向上も期待したいが、運動が好きな児童の育成をめざしてもらいたい。</p>
<p><b>健康安全教育の徹底を通して体力の向上</b></p>	<p><b>給食指導を中心とした食育の充実</b> 栄養教諭による食育指導を全学年で計画的に実施する。</p>	<p>栄養教諭と連携を図り、日常的な給食指導を通して、食に関する指導を年1回以上計画的に行っている。</p>	3.3	3.0	3.3	<p>総合的な学習の時間を通して、有機農業にふれ、生育から、収穫までを体験した。また、給食で綾町ならではの特色のあるメニューを取り入れ、児童が食に興味を持つとともに、郷土への思いを深められるようにしてきた。給食時にJAや生産者を招き、ともに食事をしたり、食材や生産者について、校内放送や掲示板で紹介したりするなど、啓発にも力を入れている。今後も継続していきたい。</p>	<p>3.4 家庭への情報発信をされていると思いますが、さらに充実し、保護者の食に対する意識を高める取組も必要かと思います。 食育は十分に図れている感じる。 たいへん素晴らしい取組だと思います。作った方の思いも知ることができ、綾愛も育んでいけると思われます。今年は、念願の給食を食べさせていただきました。とてもおいしかったです。 今後も、学校・役場・農業関係者等が連携を深めながら、綾愛を育てる綾ならではの給食の充実を推進していただきたい。 給食を通して郷土愛が深まるのはすばらしいことです。生産者と直接会える機会があるのはめずらしい取組だと思うのでは、ぜひ続けてほしいと思う。物価高騰があるので厳しいところもあると心配です。 有機給食にも積極的かつ前向きに取り組んでいただいた。</p>
	<p><b>健康意識の向上</b> 健康を意識した生活習慣力向上を図る。</p>	<p>健康を意識した生活習慣力向上を図るために指導を行っている。</p>	3.2	3.3	3.1	<p>保健学習や学級活動などにおいて、「清潔にしよう」「歯や目を大切にしよう」「病気やけがの予防」などの題材で、全学年取り組んでいる。また、保護者と教職員対象に、学校保健委員会を実施し、保健衛生についての取組を行っている。</p>	<p>3.1 小さなまちですので、どうしても小・中学校を中心で感染症が広がることがあるかもしれません、学校でいつも基本的な対策の指導をしてくださっているので、たいへんありがとうございます。 寝て食べて遊ぶことの大切さ、特に寝ることの大切さはしっかりと子ども達に伝えいただきたいです。 スマートフォンやSNSの普及に伴い、児童生徒への危険性が高まっており、情報リテラシーや情報モラルについても、発達段階に応じてしっかり教えてほしい。また、このことに関しての評価項目があつてもよいのではないかと思う。</p>
<p><b>個の特性に応じた特別支援教育の充実</b></p>	<p><b>特別支援教育に関する理解の促進</b> 特別支援教育に関する理解を推進するため、研修会を計画的に実施し、保護者への情報発信を行う。</p>	<p>特別支援教育の視点から、対象児童に対して、巡回相談を活用したり、日常生活における配慮をしたりしている。</p>	3.2	3.1		<p>特別支援教育についての理解を深めるために、保護者への特別支援教育通信「あおぞら通信」を発行し、情報共有を行った。校内において児童理解につながる研修を実施し、共通理解の場を多くもつた。また、支援対象児童に対し、定期的な巡回相談やスクールカウンセラーを活用し、保護者と外部機関との連携も図った。</p>	<p>3.1 幼保小中を通した保護者への研修機会の提供もあるといいのでは? 共通理解はとても大切なことと存じます。学校や保護者だけでなく、地域ぐるみで連携協力ができると良いと思います。 特別支援教育に対する情報を伝えいただいたことは、親の気付きや理解を深めることに繋がり良かったと思います。今後は更にマルチアーメントなど、養育環境で苦しくなっている子ども達の情報発信もしていただけたらと思います。 特別な支援が必要な児童が増える中、対応に苦慮されていると思う。今後とも、保護者・関係機関・教育委員会等との連携を深めながら、支援が必要な児童一人一人の生活や学習上の困難さを軽減し改善するために頑張ってもらいたい。 職員不足の中での取組は難しいのではないかと思いますが、できるだけ頑張ってほしいです。 特別支援教育は今後の教育界にとって最も重要なものであるので、保護者・地域への積極的な発信をお願いしたい。</p>
	<p><b>綾に学び、綾を愛し、ふるさとに貢献できる人材の育成</b></p>	<p><b>関係機関と連携・協働した教育活動の充実</b> ユネスコエコパークである綾町でしかできない地域のひとつのことを活用した活動を実施し、概念的な知識を得られる活動</p>					
	<p><b>綾に学び、綾を愛し、ふるさとに貢献できる人材の育成</b></p>	<p><b>綾の課題について多角的な視点でもあって良いのでは。例えば、高齢者の問題【福祉】。</b> 子ども会・地区公民館未加入者の増加など。 綾に対する愛着が育ち、ふるさとを自慢できる子ども達に成長してきているを感じられる。 たいへん素晴らしい取組と思われます。子ども達から発信をして、綾愛が増えて、地域が少しずつ元気を取り戻せています。活気のある綾町になれると言感じています。今後とも引き続きお願いいたします。 子ども達は、綾愛あふれたよい子に育っているを感じました。 児童の評価が、全ての項目で最も高い評価になっています。綾愛が確実に育っていることが分かる。また、地域の力を活用した各種取組も行われており素晴らしい。 ふるさと「綾」が好きな児童が増えていることは良いです。その気持ちを地域の人たちに知らせる場があると良いですね。 綾が好きな児童が増えているのはたいへん嬉しい。先生方がコツコツと地域力を活用した取組をされた結果だと思います。 綾の課題について多角的な視点でもあって良いのでは。例えば、高齢者の問題【福祉】。 子ども会・地区公民館未加入者の増加など。 綾に対する愛着が育ち、ふるさとを自慢できる子ども達に成長してきているを感じられる。 たいへん素晴らしい取組と思われます。子ども達から発信をして、綾愛が増えて、地域が少しずつ元気を取り戻せています。活気のある綾町になれると言感じています。今後とも引き続きお願いいたします。 子ども達は、綾愛あふれたよい子に育っているを感じました。 児童の評価が、全ての項目で最も高い評価になっています。綾愛が確実に育っていることが分かる。また、地域の力を活用した各種取組も行われており素晴らしい。 ふるさと「綾」が好きな児童が増えていることは良いです。その気持ちを地域の人たちに知らせる場があると良いですね。 綾が好きな児童が増えているのはたいへん嬉しい。先生方がコツコツと地域力を活用した取組をされた結果だと思います。 綾ならではのエコパークを基軸とした授業を構築するために、全ての先生方が、綾の取組を勉強し、理解されていることが素晴らしいと思った。</p>					
	<p><b>PTA活動の充実</b></p>	<p><b>各家庭の負担感に配慮した合理的な活動の充実とその他ご協力いただける任意の会の参加を推進</b> 「できるときにはできるだけ参加」をモットーにPTA活動に協力する体制づくりに努める。</p>				<p>保護者と協力し、子ども達のためのPTA活動を推進している。</p>	<p>3.2 ますますのPTA活動の充実をお願いします。 中学校はPTAがないと聞く。保護者と先生方と手を取り子どものためにがんばってほしい。 PTAの解散や任意加入等、PTAの在り方問われている中、保護者役員が主体となり実施している活動が増えたことは素晴らしい。「できるときにはできるだけ参加」をモットーに活動に協力する体制づくりに努めてほしい。 保護者役員が主体となって実施する活動が増えるのは素晴らしいこと。</p>